

2026年度 観光学部観光学科 履修系統図

観光学科の科目群

【語学科目群：英語・多言語運用力】
日本人学生は英語を中心とした多言語運用力を養い、国際社会で活躍する力を育成することを目的とする。
留学生は日本語力の向上を図り、日本語能力試験N1の取得を目指すとともに、観光現場に必要な語彙や表現を習得し、実践的なコミュニケーション能力を高める。

【キャリア形成科目群：キャリア形成力】
大学生生活の導入から就職活動までを見据え、自己理解・論理的思考・情報活用・協働能力などの汎用的能力を段階的に育成し、持続可能なキャリア形成を支援する。
1年次から4年次まで継続的に履修することで最大限の学修効果が期待できる。

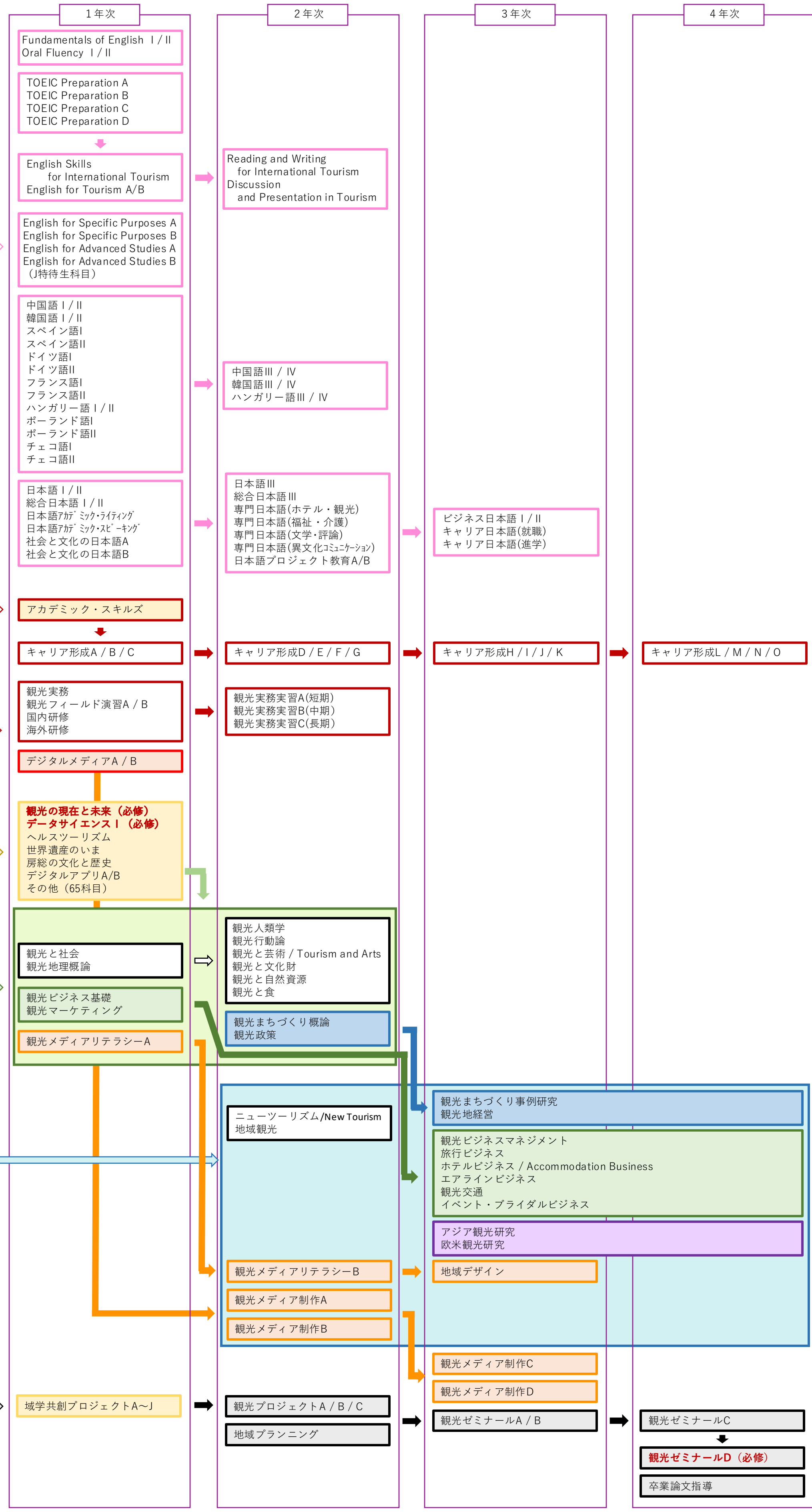
【キャリア形成科目群：実践的キャリア力】
幅広い体験を通して、海外や国内における観光地の取り組みを「現場での体験」を通して学ぶとともに、多様な価値観を受け入れる力を修得することができる。

【全学部共通基盤科目：知見を広げる】
建学の精神「学問による人間形成」を基盤として、総合大学ならではの文理融合型リベラルアーツ教育を展開する。全学科の学生が履修可能であり、新たな時代を切り開く力を育むことを目的としている。

【専門基礎科目群：専門力の育成】
観光学の基礎的素養を身につけるための科目群。観光者・観光資源・観光地政策・観光産業など多角的な視点から観光と社会の関係を学ぶ。また「観光ビジネス（緑）」「観光まちづくり（青）」「観光メディア（橙）」の3分野に対応した導入科目を配置し、専門的な学びへの橋渡しとなる知見を修得することを目的としている。

【専門科目群Ⅰ（観光学）：専門力の深化】
専門基礎科目群で培った知識をもとに、観光学の理解をさらに深めるための科目群。「観光ビジネス（緑）」「観光まちづくり（青）」「観光メディア（橙）」の3分野における専門性を高め、旅行・宿泊・交通・地域・メディアなど多様な領域にわたる実践的かつ理論的な学びを通じて、観光の現場で活躍できる力を養うことを目的としている。

【専門科目群Ⅱ：実践力・研究力】
自ら考え、実践する体感的な学びを通して、調査・研究・連携・提案・発表といった一連の流れを身につけ、専門性を深化化する。



観光学の専門領域

【観光基礎力】
観光学の基礎的素養を身につける分野。観光者、観光資源、観光地政策、観光産業などを多角的に学び、観光と社会の関係を理解する力を養うことを目指す。

【観光ビジネス】
観光業界に関する専門知識を中心に、ホスピタリティ、コミュニケーション、マネジメント、財務、マーケティングなどのビジネススキルを体系的に修得する分野。旅行業、宿泊業、交通、イベント・ブライダルなど多様な観光サービスの構造と運営を理解し、観光産業における実務力と課題対応力を有した観光ビジネス人材の育成を目指す。

【観光まちづくり】
観光を通じた地域活性化に関する専門知識を修得する分野。観光資源の活用、地域経営、観光地の計画・運営に加え、地域との共生や持続可能性の視点を重視する。地域住民や行政、企業との連携を通じて、観光によるまちづくりの実践的手法を学び、地域課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す。

【国際観光力】
アジア圏や欧州・米国などの事例を通じて、地域の特性や最新の観光事情の修得を目指す。

【観光メディア】
観光の魅力や効果的に伝えるためのメディア活用力を育成する分野。広報活動や情報発信に関する理論と実践を学び、冊子編集、デザイン、動画制作などの具体的なスキルを修得する。観光者の行動やニーズを理解し、地域資源や観光コンテンツを魅力的に表現する力を養うことで、観光振興に貢献できる人材の育成を目指す。

【観光ゼミナール】
ゼミは3つのタイプに分類される。研究探究ゼミは、学生が自らテーマを設定し、計画的に研究を進める個人探究型。課題解決ゼミは、グループで地域や社会課題に取り組む協働型。メディア制作ゼミは、観光に関する映像やグラフィックなどの作品を個人で制作する実践型である。